

山形県感染症発生動向調査 週報

2025年 第26週
(2025年6月23日～2025年6月29日) 2025年7月2日 発行

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)
TEL.023-627-1109

<定点把握感染症>

定点 種別	感 染 症	全 国	山 形 県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積 (県)
		第25週	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第1～26週
感 急 染 性 症 呼 吸 器	内科・小児科 (定点医療機関数)		(39)			(7)			(10)			(4)			(6)			(12)			
	インフルエンザ	1048	31	6	▽	5	4	▽	14	2	▽	1		▽	11		▽				6544
	新型コロナウイルス 感染症(COVID-19)	3841	11	16	△	3	3		2	8	△	2		▽	1		▽	3	5		3076
		1.00	0.28	0.41		0.43	0.43		0.20	0.80		0.50			0.17			0.25	0.42	▲	
小 児 科 定 点	(定点医療機関数)		(26)			(6)			(7)			(3)			(3)			(7)			
	RSウイルス感染症	560	22	37	▲	11	17	▲	2	2		1	4	△	7	10	▲	1	4	△	505
		0.24	0.85	1.42		1.83	2.83	▲	0.29	0.29		0.33	1.33		2.33	3.33	▲	0.14	0.57	△	
	咽頭結膜熱	1706	14	28	△	5	10	△	1	2	△		1	△	4	10	△	4	5	▲	329
		0.73	0.54	1.08		0.83	1.67	△	0.14	0.29			0.33		◎1.33	◎3.33		0.57	0.71		
	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	6096	59	52	▽	22	23	△	8	7	▽				25	21	▽	4	1	▽	1765
		2.60	2.27	2.00		3.67	3.83	△	1.14	1.00					◎8.33	◎7.00		0.57	0.14		
	感染性胃腸炎	13621	180	135	▽	26	41	▲	95	46	▽	6	5	▽	33	24	▽	20	19	▽	3721
		5.81	6.92	5.19		4.33	6.83	▲	13.57	6.57	▽	2.00	1.67	▽	11.00	8.00	▽	2.86	2.71		
	水痘	1041	4	14	△		3	△	3	10	△							1	1		321
		0.44	0.15	0.54			0.50	△	0.43	◎1.43								0.14	0.14		
	手足口病	773	6	13	△	1	1		4	10	△	1	1			1	△				214
		0.33	0.23	0.50		0.17	0.17		0.57	1.43	△	0.33	0.33			0.33					
眼 科 定 点	(定点医療機関数)		(8)			(1)			(3)			(1)			(1)			(2)			
	急性出血性結膜炎	20																			0
		0.03																			
	流行性角結膜炎	603	3		▽							1		▽	2		▽				111
		0.87	0.38									1.00			2.00						
	感 染 症		(10)			(2)			(2)			(1)			(2)			(3)			
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	25																			28
		0.05																			
	クラミジア肺炎	2																			0
		0.00																			
基 幹 定 点	マイコプラズマ肺炎	240	5	13	▲	2	8	▲		1	△	1	2	▲				2	2		136
		0.50	0.50	1.30		1.00	4.00	▲		0.50	△	1.00	2.00	▲				0.67	0.67		
	細菌性髄膜炎	9																			2
		0.02																			
	無菌性髄膜炎	19																			3
		0.04																			

・表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

・定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

<通 信 欄>

〇トピックスでは、「伝染性紅斑」と「百日咳」について掲載しています。

警報・注意報の基準値(参考値)

感 染 症	警報レベル		注意報 レベル
	開始	終息	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

令和7年第15週から、国の新しい基準が発出されるまでの間、
警報・注意報の基準値については参考値として取り扱います。

- ・定点把握感染症の定点当たり報告数グラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。
- ・ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。
- ・感染症のCSVデータは、衛生研究所HPからダウンロードできます。

<トピックス>

引き続き伝染性紅斑と百日咳に 注意しましょう

第26週における伝染性紅斑の県定点当たり報告数は5.50で、12週連続で警報レベル(参考値)となりました。また、百日咳の報告数は51人で第26週までの累積報告数は542人となっています。(2024年累積報告数は222人)報告数は2週続けて減少しましたが、全体としては高い報告数が続いています。どちらの感染症も感染経路は飛沫感染と接触感染です。

「手指衛生」「咳エチケット」「換気」等の基本的な感染対策に努めましょう。

【伝染性紅斑】

小児を中心にみられる流行性の発しん性の感染症で「リンゴ病」と呼ばれることもあります。

約10～20日の潜伏期を経てかぜのような症状がみられ、その後、両頬に紅い発しんが現れます。かぜのような症状がみられる時期にウイルス排出が最も多くなり、発しんが現れたときには感染力はほぼ消失しています。

妊婦が感染すると、胎児にも感染する可能性があるので特に注意しましょう。

【百日咳】

けいれん性の咳発作を特徴とする感染力が強い急性気道感染症です。乳児(特に新生児や乳児早期)では重症化することがあります。

通常5～10日間(最大3週間程度)の潜伏期を経てかぜ症状にはじまり、次第に咳の回数が増えて程度も激しくなります。

〈予防と対策〉

百日咳ワクチンを含む5種混合ワクチンが定期接種で行われています。重症化予防の観点から、定期接種の対象(月齢)に達した乳児は、すみやかに接種を受けることが重要です。また、特に乳児や妊婦が周辺にいる方は感染に注意し、長期の咳が持続する場合は早めに医療機関を受診しましょう。

Week	山形市	村山	最上	置賜	庄内
26	2	1	1	1	1
28	3	2	2	2	2
30	4	3	3	3	3
32	5	4	4	4	4
34	6	5	5	5	5
36	7	6	6	6	6
38	8	7	7	7	7
40	9	8	8	8	8
42	10	9	9	9	9
44	11	10	10	10	10
46	12	11	11	11	11
48	13	12	12	12	12
50	14	13	13	13	13
52	15	14	14	14	14
2	16	15	15	15	15
4	17	16	16	16	16
6	18	17	17	17	17
8	19	18	18	18	18
10	20	19	19	19	19
12	21	20	20	20	20
14	22	21	21	21	21
16	23	22	22	22	22
18	24	23	23	23	23
20	25	24	24	24	24
22	26	25	25	25	25
24	27	26	26	26	26
26	28	27	27	27	27

図 百日咳保健所別報告数 (第26週現在)

[illegible]

【急性呼吸器感染症サーベイランス(症候群サーベイランス)】

< 定点把握感染症 >

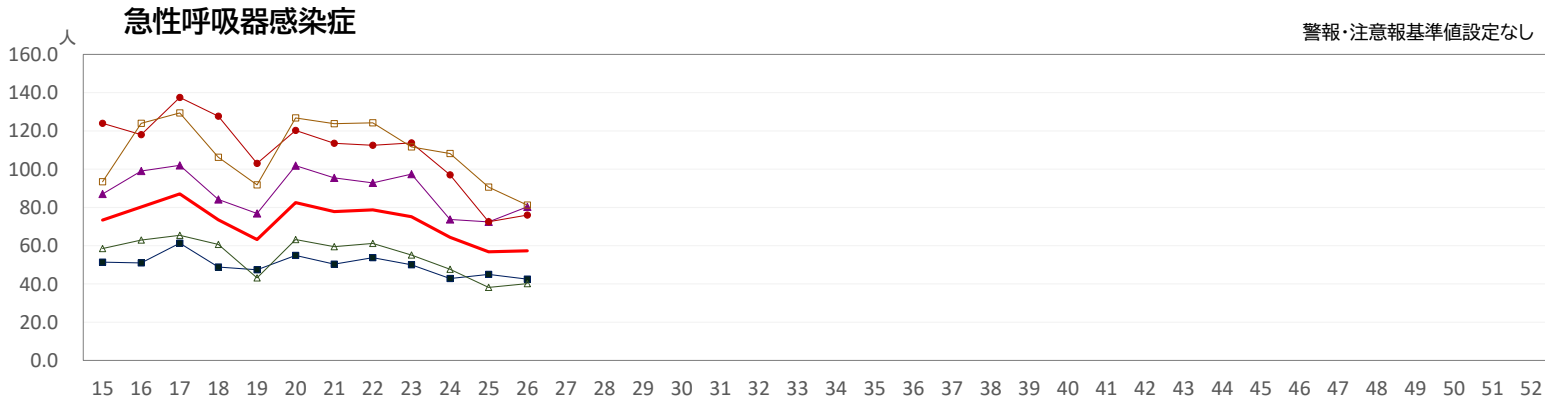
感 染 症	全国	山 形 県				山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積 (県)
	第25週	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第15～26週	
急性呼吸器感染症定点 内科・小児科 (定点医療機関数)		(38)				(7)			(10)			(4)			(5)			(12)			
急性呼吸器感染症	200018	2158	2179	Δ	507	562	Δ	450	425	▽	290	304	Δ	453	406	▼	458	482	Δ	32990	
	51.93	56.79	57.34		72.43	80.29		45.00	42.50		72.50	76.00		90.60	81.20		38.17	40.17			

・表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数
・定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

< 定点把握感染症 年齢別報告数 >

感 染 症	山 形 県												
	第26週												
急性呼吸器感染症定点 内科・小児科	0歳	1～ 4歳	5～ 9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳～	合計
急性呼吸器感染症	169	959	508	208	50	45	57	36	46	36	38	27	2179

< 定点当たり報告数グラフ >



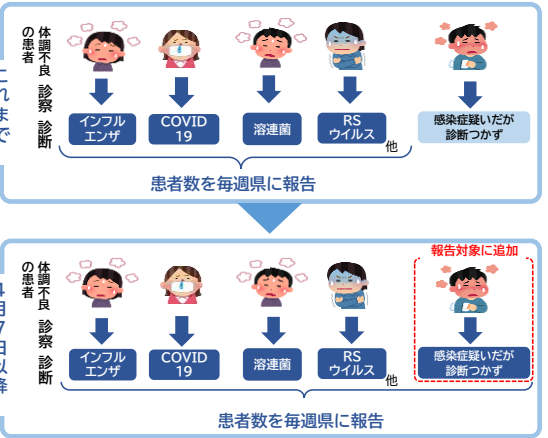
急性呼吸器感染症(ARI)
サーベイランスについて

平時より、①流行しやすい急性呼吸器感染症の発生動向の把握、②未知の呼吸器感染症が発生し増加し始めた場合に迅速に探知する体制の整備、③国内の急性呼吸器感染症の発生状況について、国民や医療関係者の皆様へ情報が共有できる体制を整備するために、急性呼吸器感染症が4月7日から五類感染症に位置づけられ、サーベイランスが始められました。

ARIサーベイランスは、**症例定義※**に一致する患者数の発生を把握する**症候群サーベイランス**です。

※咳嗽(がいそう)、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

ARIサーベイランスにおける対象感染症は、インフルエンザ、COVID-19、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に加え、新たに五類感染症に位置づけられた「(診断名のつかない)急性呼吸器感染症」となります。



詳しくは
厚生労働省HPへ ▶▶▶

